

令和 6 年度天王寺区 運営方針の実績・評価及び課題について

天王寺区区政会議

令和 7 年 8 月 5 日（火）

目次

- 区の目標 P3
- 自己評価結果の総括 P4～P5
- 【子育て・教育班関係】 P6～P7
- 【地域福祉・健康班関係】 P8～P10
- 【地域社会づくり班関係】 P11～P14
- 【情報発信班関係】 P15～P16

区の目標（何をめざすのか） 「天王寺区将来ビジョン」より

- みんなの「思い」が区政に反映されているまち
- 子どもが健やかに育ち、未来に向かって学べるまち
- だれもが安全で安心していきいきと暮らし続けられるまち
- 歴史的・文化的資産を活かして多くの人が集いにぎわうまち
- つながりあい、支え合い、助け合うまち



以上の実現をめざした、令和6年度を取組を報告します

【経営課題1 子どもが健やかに育ち、未来に向かって学べる環境づくり】

- ・子育て世帯の不安に対し、情報提供と専門知識を持った職員による相談機会等を提供しているが、継続した実施が必要である。
- ・子育て支援・学習支援等の取組について積極的な周知を行うとともに、必要な支援を関係機関につなげる取組も継続する必要がある。
- ・外国からの編入児童・生徒等の増加に伴う支援は、外国語サポーターを派遣している。当区だけでなく各区とも課題認識を共有し、対応策を検討していく。

【経営課題2 気にかける・つながる・支えあう地域福祉】

- ・地域コーディネーターの配置により、福祉の情報提供や相談対応等を行う場を地域に作ることで見守り体制の強化に努めた。今後も地域の高齢者、障がい者の孤立化を防ぐ取組の推進が必要である。

【経営課題3 大きな公共を担う活力ある地域社会づくりと地域の力を結集した「防災力」向上の取組】

- ・幅広い世代への地域活動の広がりが十分ではなく、区民の地域活動への関心や関与を高める方策を検討する必要がある。
- ・区民の災害への備え(自助)や地域の防災対応力(共助)の向上をめざし、防災を自分ごととして捉え、行動に移すための啓発の方策を検討する必要がある。

【経営課題4 歴史的・文化的資産を活かした積極的な魅力発信による地域の活性化】

- ・区制100周年と大阪・関西万博に関する情報発信を強化するべく、大阪・関西万博大阪ウィーク秋での同テーマにおける情報発信を進めている。

【経営課題1 子どもが健やかに育ち、未来に向かって学べる環境づくり】

- ・専門相談員等による情報提供と相談はもとより、発達が気になる子どもと保護者対象の学習や交流の場の提供、不登校児童への家庭訪問、外国人児童等へのコミュニケーション支援等、子育てに特に不安がある家庭への支援を充実する。

【経営課題2 気にかける・つながる・支えあう地域福祉】

- ・高齢者等見守り支援事業の認知度向上、同意を得られる方の増加を図るため、見守り相談室と連携し、効果的な周知・広報を行う。
- ・地域の活動者等からの情報を生かし、見守り登録へつなげる。

【経営課題3 大きな公共を担う活力ある地域社会づくりと地域の力を結集した「防災力」向上の取組】

- ・身近な地域における人と人とのつながりづくりを促進するため、日ごろからの顔見知りづくりの大切さを感じてもらえるような広報・啓発に取り組む。
- ・いつ起きてもおかしくない災害に備え、「マンション防災」の強化や、地域・協力企業などとの連携による共助力の強化に引き続き取り組む。
- ・個別避難計画の作成や防災訓練等の機会を通じて緊急時に助け合える“地域のつながりづくり”に取り組むなど共助を促進する。

【経営課題4 歴史的・文化的資産を活かした積極的な魅力発信による地域の活性化】

- ・豊富な歴史的・文化的資産を活かしつつ、区制100周年及び大阪・関西万博を契機に、区の魅力発信について、より強化していく。

【子育て・教育班関係】 令和6年度経営課題1

子どもが健やかに育ち、未来に向かって学べる環境づくり

アウトカム指標

[達成状況]

<目標>

「子どもが健やかに育ち、未来に向かって学べる環境づくりが進められていると感じる」と回答した割合(区民アンケート):

令和8年度 70%

56.9%

(前年度 65.1%)

[具体的取組]

◆心身の発達・性格行動・非行・不登校など子どもに関する様々な相談が年々増加している状況を踏まえ、相談体制を充実するとともに、区独自の施策を展開

【実績等】

- ・家庭児童相談員や言語聴覚士など専門相談員による情報提供と相談、不登校児童への家庭訪問の実施
- ・発達が気になる子どもの保護者を対象とした学習会の開催
- ・こどもフェスタ、子育て情報博覧会の実施
- ・小学生多文化理解事業 4回(聖和小1回、生魂小2回、天王寺小1回)
- ・職業講話、部活動支援講師派遣 28回(天王寺中2回、夕陽丘中8回、高津中18回)
- ・ジュニアクラブ(小学4年生から高校生) ボランティア等の活動 5回
- ・学校へのサポーター派遣(学び・生活サポーター・外国語サポーター) 15か所
- ・居場所(民間)へのサポーター派遣(学び・生活サポーター) 11か所



ご意見をいただきたい区役所が認識する課題(子育て・教育班関係)

◇外国につながる児童生徒等(保護者を含む)の状況

- ・大阪市では、外国人住民人口が過去最高を更新し続けており、令和5年度から6年度にかけて外国人住民が約20,000人増加。全市人口の6.81%を占め、政令指定都市で最多の割合となっている。また、令和6年度に実施した大阪市外国人住民アンケート調査によると、6.7%が「日本語での日常会話がほとんどできない」と回答している。
- ・小中学校においては、教育委員会事務局からの通訳等の派遣があるものの、想定を超えた転入増が続いたため、令和6年度からは「多言語リモート通訳システム」、令和7年度からは学習者用端末に導入可能な「AI(機械)翻訳システム」の導入を開始したところである。
- ・天王寺区においては、他区に比して外国人住民の転入者が多く、区内の学校園において、外国につながる児童生徒等(保護者を含む)急増のため、教職員が対応に苦慮する状況が続いている。また、幼稚園では通訳派遣の制度がなく、翻訳機を支給されているが、現場においては活用しづらいといったご意見をいただいている。
- ・区役所において通訳ができる人材を募集確保し、学校園の要請に応じて「外国語サポート」を派遣しているが、複数の言語において人材不足が見られる。

【地域福祉・健康班関係】 令和6年度経営課題2 気にかける・つながる・支えあう地域福祉

アウトカム指標

[達成状況]

<重点目標>

要援護者や独居高齢者等のうち、名簿の同意を得られた方の割合：
令和8年度 50%

23.8%
(前年度 24.7%)

[具体的取組]

◆独居高齢者等見守りサポーター事業

【実績等】

- ・新規対象412人を調査
(令和6年度に80歳に到達した世帯に対して、再度見守り希望の調査を実施)
- ・過年度の見守り継続希望世帯を含む309世帯を対象に見守り訪問を実施

◆地域における要援護者の見守りネットワーク強化事業

- ・対象者約590人(高齢者・障がい者・難病患者等)に要支援者にかかる同意確認・名簿整備を実施し、260名が同意
- ・「見守り支援ネットワーク」による孤立世帯等への専門的対応
- ・「認知症高齢者見守りネットワーク」による徘徊者保護

◆地域福祉コーディネーター事業

- ・5地域の会館等において、地域福祉コーディネーターが定期的に駐在し、福祉情報の提供・相談等を実施



<目標>

「健康に関する取組を行っている」と回答した割合(区民アンケート):
令和8年度 80%

73.8%
(前年度 83.5%)

[具体的取組]

◆健康出前講座の実施

【実績等】

- ・健康の保持増進に取り組む機会を確保するため、健康に関する出前講座を実施 令和6年度 18回

◆地域における通いの場の拡大

【実績等】

- ・健康寿命の延伸に向け、百歳体操・フレイル予防講座等を行う「通いの場」の拡充 116カ所

◆がん検診の周知

【実績等】

- ・区広報紙4月号で特集号を作成
- ・がん検診受診呼びかけのポスターを作成し、区広報板等において掲示
- ・がん検診受診呼びかけ動画を区役所待合スペースで放映



◇地域における見守り事業の名簿の同意者数及び認知度の向上

・見守り事業の認知度を上げるため、現在、広報紙の掲載、町会の案内板に掲示、各種地域活動でのビラの配布など行っているが、効果的な広報・周知方法を検討し、進めていく必要がある。

<現在の情報発信の活動>

郵便局や賛同を得られたマンションにビラを掲示しており、新たにビラを掲示してもらえるマンションを探している。また、図書館、区民センター、クレオ大阪中央、年金事務所に、ポスターを掲示している。

◇がん検診受診率の向上

・がんについては、本市において死亡率が最も高く、天王寺区においても、がんによる死亡割合は全体の4分の1を占めている。このような状況において、がんの早期発見は重要であることから、区においても広報紙4月号での特集、区内広報板等におけるポスターの掲出、各種イベントでのお知らせ等を実施しているが、さらに効果的ながん検診の受診勧奨、具体的な検診機関・検診方法等の周知が必要である。

【地域社会づくり班関係】 令和6年度経営課題3

大きな公共を担う活力ある地域社会づくりと地域の力を結集した「防災力」向上の取組

アウトカム指標

[達成状況]

<目標>

非常準備品の用意率(区民アンケート)： 令和8年度 世帯数の70% (前年度 47.9%)

60.4%

<目標>

家具の転倒対策率(区民アンケート)： 令和8年度 世帯数の70% (前年度 53.2%)

44.2%

[具体的取組]

◆「出前講座の実施」「災害対策情報の発信」、「マンションにおける防災力の向上」、各種防災啓発等による、減災のための取組の強化

【実績等】

- ・地域や学校での出前講座の実施 23回
- ・マンションでの出前講座及び個別支援 22件
- ・個々のマンションへ啓発ポスターの掲出依頼 129カ所
- ・マンション防災学習会の開催 1回
- ・区の広報紙での特集 1回 (6月号)



アウトカム指標

[達成状況]

<目標>

区役所の防犯の取組が効果的であると感じる、と回答した割合
(区民アンケート): 令和8年度 80%以上

81.8%

(前年度 79.0%)

<目標>

特定空家の増加抑制 令和3年度末時点の5件を維持 是正件数3件以上

特定空家 7件 是正 1件

(前年度 7件、是正 0件)

[具体的取組]

◆「犯罪件数減少に向けた取組」の推進

【実績等】

- ・青色防犯パトロール車による巡回 323回
- ・防犯カメラの区役所設置分の維持・管理
(116台)
※別途、局設置分58台

◆空家等対策推進事業

【実績等】

- ・特定空家等の所有者調査の実施及び是正に向けた助言、指導の実施 2件
- ・広報紙、ホームページで空家の適切な維持管理等の啓発、空家の活用事例を紹介 (広報紙8月号、2月号)
- ・特定空家等の解体や補修等による是正件数 1件



<目標>

身近な地域でのつながりに関して肯定的に感じている回答者の割合(区民アンケート): 令和8年度 70%

36.9%

(前年度 40.4%)

[具体的取組]

◆ 人と人とのつながりづくりの促進

【実績等】

- ・区広報板で地域活動紹介用ポスターの掲示を実施 3回
- ・区広報紙で地域活動協議会の各種活動紹介や町内会加入の呼びかけ 12回
- ・お手伝い体験会 体験者24名の内、継続的活動希望者14名
- ・地域貢献活動事業者との交流会から連携できた事業12件



ちいきかつどうきょうぎかい 地域活動協議会

天王寺区には地域ごとに9つの地域活動協議会があります。



地域の各種団体などが集まり、話し合いや協力をしながら、地域の課題解決やまちづくりにつながる様々な地域活動に取り組んでいます。

ご意見いただきたい区役所が認識する課題(地域社会づくり班関係)

◇災害時に在宅避難を可能とするための家具の固定とトイレ用凝固剤を含む生活必需品や水・食料品の備蓄(ローリングストック)の普及啓発

- ・南海トラフ巨大地震は過去から繰り返し一定の周期で発生しており、今後30年以内の発生確率は80%程度、また上町断層帯地震については天王寺区は発生の切迫度が最も高いSランクに位置付けられるなど、大規模地震はいつ発生してもおかしくない状況である。
- ・関東から四国・九州にかけて被害が広範囲に及ぶため、交通網の遮断等により物流が滞り、また、国や他府県の救援や支援が遅れる可能性がある。
- ・事前の備えとして、区民の災害への備え(自助)や地域の防災対応力(共助)の向上をめざし、広報紙やホームページ(動画を含む)での広報や、学習会や出前講座の開催にとどまらず地域イベントなど様々な機会をとらえ周知啓発を進めた。しかし、非常準備品の用意率や、命を守り在宅避難を可能とするための家具の転倒対策率及び災害時のトイレ対策率(トイレの凝固剤の備蓄等)については依然として十分ではない。
- ・具体的に危機感を持って、災害を自分ごととして捉えていただけるような機運醸成についてご意見をいただきたい。

【情報発信班関係】 令和6年度経営課題4

歴史的・文化的資産を活かした積極的な魅力発信による地域の活性化

アウトカム指標

[達成状況]

<目標>

天王寺区の魅力発信・観光振興ができていると感じると回答した割合
(区民アンケート): 令和8年度 **80%**

52.9%

(前年度 62.8%)

[具体的取組]

◆ 天王寺区魅力発信・にぎわいづくり事業

【実績等】

- ・天王寺区制100周年記念イベントとして「天王寺と博覧会」と題した講演会 とパネル展を実施
- ・「天王寺みらいプロジェクト」のひとつ「区役所×中学生プロジェクト」により、「ももてんちゃん」の100周年バージョンが誕生
- ・てんのうじ再発見セミナー(講演会1回・まちあるき1回)
- ・まちあるき等を実施している団体との連携及び事業支援
- ・真田街道ガイドと真田氏ゆかりの地スタンプラリーへの参加
- ・上町台地周遊マップの配布
- ・吹奏楽フェスティバルの開催

◆ 区政情報の発信

【実績等】

- ・広報紙の全戸配布(令和5年5月号から継続実施)
- ・ホームページ、区内広報板、区役所1階区民情報コーナー
公式SNS (Facebook、X、LINE(市)、YouTube、Instagram)の運用



◇大阪関西万博と連携した区制100周年記念事業をはじめ、区が実施する様々な事業やイベント等の効果的な情報発信について

- ・大阪・関西万博という機会を最大限に活かし、「大阪ウィーク夏及び秋」などに出演・出展することで、全国、あるいは世界に向けて区制100周年を迎えた天王寺区の魅力を発信する。
- ・区制100周年記念誌発刊に加え、行政と区民が一体となって盛り上げるために発足した「もりあげ隊」を軸に各種記念事業を実施するとともに、区が実施する様々なイベントも含めて、区民の皆さまと共に区制100周年という記念すべき年を盛り上げ、周知度を一層高める。